



Newspaper in Education

静岡新聞で学ぼう



記事を読んで、問いに答えなさい。

2020年12月12日朝刊 中部版

進路について考える「キャリア探求学習」に新聞を活用する静岡市駿河区の駿河総合高で11日、身近な情報を紙面から効率よく得る方法を学ぶ特別授



Newspaper in Education

駿河総合高

身近な情報効率よく

スクラップノート作成へ記事の読み方学ぶ

業が開かれた。1月か
ら記事のスクラップノ
ートを作る1年生28
8人が、地域に根ざし
た記事の読み方を学ん
だ。
元中学校長で静岡新聞NIEコーディネーターの矢沢和宏さんが講師を務めた。矢沢さんは近年、情報の高速化や氾濫が進んでいると指摘し、活字をじっくり読んでニュースに

向き合う大切さを強調した。「世界情勢や国政が身の回りの生活に及ぼす影響は、地域版に載る記事から読み取れる」と、身近な事象に関する情報収集の仕方を伝えた。
生徒は同じ発行日に同じテーマで書かれた2本の記事を見比べて違いを探し、配達地域に合った写真や内容に差し替えていることを



矢沢さんの指導で記事を見比べる生徒
＝静岡市駿河区の駿河総合高

学んだ。小田養生生さん(16)は「さまざまな視点の記事をスクラップして考えを深めた」と話した。(社会部・国本啓志郎)

①記事の高校生が行っている進路学習を何と呼んでいるか。

()

②新聞活用について、講師はどのような姿勢の大切さを強調したのか。

[]

③「地域版」に掲載される記事からは何が読み取れるのか。

[]

④記事の高校生は今後どのような方法で情報を集めていくのか。

[]

年 組 名前

作問者：静岡新聞NIEコーディネーター 矢沢和宏

(中学校～高校／国語、社会、総合)



Newspaper in Education

静岡新聞で学ぼう



記事を読んで、問いに答えなさい。

解答例

2020年12月12日朝刊 中部版

進路について考える「キャリア探求学習」に新聞を活用する静岡市駿河区の駿河総合高で11日、身近な情報を紙面から効率よく得る方法を学ぶ特別授



Newspaper in Education

駿河総合高

身近な情報効率よく

スクラップノート作成へ記事の読み方学ぶ

業が開かれた。1月から記事のスクラップノートを作る1年生288人が、地域に根ざした記事の読み方を学んだ。

元中学校長で静岡新聞NIEコーディネーターの矢沢和宏さんが講師を務めた。矢沢さんは近年、情報の高速化や氾濫が進んでいると指摘し、活字をじっくり読んでニュースに

向き合う大切さを強調した。「世界情勢や国政が身の回りの生活に及ぼす影響は、地域版に載る記事から読み取れる」と、身近な事象に関する情報収集の仕方伝えた。

生徒は同じ発行日に同じテーマで書かれた2本の記事を見比べて違いを探し、配達地域に合った写真や内容に差し替えていることを



矢沢さんの指導で記事を見比べる生徒
＝静岡市駿河区の駿河総合高

学んだ。小田養井生さ(16)は「さまざまな視点の記事をスクラップして考えを深めた」と話した。(社会部・国本啓志郎)

①記事の高校生が行っている進路学習を何と呼んでいるか。

(**キャリア探求学習**)

②新聞活用について、講師はどのような姿勢の大切さを強調したのか。

**活字をじっくりと読んで
ニュースに向き合う姿勢
(の大切さ)**

③「地域版」に掲載される記事からは何が読み取れるのか。

**世界情勢や国政が身の
回りの生活に及ぼす影響**

④記事の高校生は今後どのような方法で情報を集めていくのか。

(例) 新聞記事をスクラップし、活用していく。
記事のスクラップノートを作り、情報を得る。
さまざまな視点から記事を集めていく。 など

年 組 名前

作問者: 静岡新聞NIEコーディネーター 矢沢和宏

(中学校～高校/国語、社会、総合)